

～介護保険制度改正後

社協・施設はどうすべきか～

これからの地域福祉を

考えるセミナー in 高知

2006年4月21日(金)
高知県立ふくし交流プラザ

【主催】「これからの地域福祉を考えるセミナー in 高知」実行委員会



【趣 旨】

平成 18 年の介護保険改正では「地域密着型サービス」が謳われ、介護保険事業者であっても地域との連携や協働が求められます。先般示された地域密着型サービスの制度概要では、運営推進会議の設置が必須とされ、生活圏域のなかで事業所と住民がともに自らの地域を考える仕組みが示されています。

このたびのセミナーでは、住民が地域での暮らしを変える原動力となっている先駆的な活動を紹介しながら、施設は何をすべきか、そこで求められる社協とはなど、地域を取り巻く関係機関・団体とともに、今後の地域福祉のあり方を探ることを目的に開催します。

【主 催】「これからの地域福祉を考えるセミナー in 高知」実行委員会

【共 催】高知県地域福祉活動推進委員会

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）

【後 援】高知県、高知県社会福祉協議会（申請中）

【期 日】2006年4月21日（金） 10：30～16：40

【会 場】高知県立ふくし交流プラザ2階 多目的ホール

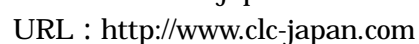
〒780-8567 高知県高知市朝倉戊 375-1 TEL 088-844-9054

【プログラム】

時 間	内 容
10：30～10：40	開 会
10：40～12：10	セッション 1 - 小規模多機能ホームが目指す地域密着型サービスとは - <div>小規模多機能ホームとして先駆的活動を繰り広げる「託老所あんき」は、ホームのなかだけで生活を完結するのではなく、地域に開く「縁側（えんがわ）」を、地域住民とともに運営する。 ユニットケアを広げるために全国を行脚する武田和典さんの一貫した主張は、「ユニットケアは入口で、出口は地域」。 このセッションでは、小規模多機能ホームや特別養護老人ホームなどの大規模施設が、どのように地域密着型サービスを捉えて、今後の活動につなげていくのかを深め合います。乞うご期待！</div> パネラー 託老所あんき(愛媛県) 代 表 中 矢 暁 美 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代 表 武 田 和 典 コーディネーター 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 助教授 藤 井 博 志
12：10～13：10	昼食・休憩

時 間	内 容
13 : 10 ~ 14 : 30	<p>セッション 2</p> <p>- 住民が自ら立ち上がり、運営する地域福祉活動の実践 -</p> <p>パネラー</p> <p>沖代すすめ（大分県） 代 表 吉 田 日出子</p> <p>沖代すすめ・・・大分県中津市沖代小校区におけるまちづくりの実践。「お互いに支えあうご近所付き合いを」との思いから、自分の足で歩ける範囲の小学校区というエリアで活動。「沖代寄り合い所 すずめの家」を活動拠点に、給食サービス、ミニデイ、おじさまクッキング、絵手紙教室、アウトデイ（逆デイ）サービスの受け入れなど、子どもからお年寄りまで地域で網の目を紡ぐ。地域で暮らしていくには上下関係はおかしい。困ったときはお互いさまという「対等な関係」づくりにこだわって活動を展開中。</p> <p>宇和島市社会福祉協議会（愛媛県）</p> <p>企画・地域福祉係長兼宇和島支所長 山 本 裕 子</p> <p>宇和島市社会福祉協議会・・・旧津島町社協において、「ふれあいセンターもやい」を開設。もやいとは、台風が来る時に、風当たりの弱い入り江などに船を避難させて、船と船をつなぎ合わせて、風雨のおさまるのを待つ。この船と船をつなぎ合わせるのを「舫（もやい）」といい、嵐が来るときに船を「もやう」ように、さみしい時、不安なとき、話し相手がほしい時など、いつでも自由に、ここに来て、一人でないことの安心、やすらぎを感じ取るところ。また、海が穏やかになったら、もやい綱を解いて、船が出て行くように、一人で暮らしていける自信ができれば、自由に「もやい」をはずしていくところです（ホームページから）。</p> <p>コーディネーター</p> <p>全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池 田 昌 弘</p>
14 : 30 ~ 14 : 50	休 憩
14 : 50 ~ 16 : 30	<p>ディスカッション</p> <p>- 高知発・その人をささえる地域福祉推進のメッセージ -</p> <p>その人をささえる取り組みは、地域で暮らす一人ひとりが参加し、支えあうことが大切です。年をとっても、障害があっても、住みなれた地域、自分の好きな地域に暮らし続けたい。そんな思いを実現するために、宅老所、施設、社会福祉協議会、行政は何が求められているのか。自助・共助のまちづくりを目指す高知県の将来像を多角的に議論します。</p> <p>パネラー</p> <p>デイサービスまる（高知県） 代 表 植 田 佳 代</p> <p>特養・葉山荘居宅介護支援事業所（高知県）主任介護支援専門員</p> <p>坂 東 ゆ う</p> <p>四万十市社会福祉協議会（高知県） 事務局次長 山 本 博 昭</p> <p>高知県 知 事 橋 本 大二郎</p> <p>コーディネーター</p> <p>高知女子大学社会福祉学部 助教授 玉 里 恵美子</p>
16 : 30 ~ 16 : 40	閉 会

事務局より折り返し、振込先を記載した受付確認票を送付いたします。



FAX : 022-719-9251

これからの地域福祉を考えるセミナーin 高知参加申込書

住 所	〒		
施設名 (所属)			
TEL		FAX	
申 込 者 氏 名			
	ふりがな	役 職	事務局使用欄
	氏 名		
例	こうち たろう 高 知 太 郎	施設長	
1			
2			
3			
4			
5			